

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

も く じ

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| □エリア×中間支援、その在り方…………… 1P | □第三者組織評価説明会@ちた…………… 2P |
| □ホームヘルパーフォローアップ研修…………… 2P | □民生委員・民生児童委員協議会研修… 3P |
| □まちの先生講座…………… 2P | □ふくし職員リレーインタビュー…………… 3P |
| □知多半島ろうスクール運営…………… 2P | □インフォメーション…………… 4P |
| □プロボノ募集…………… 2P | |

エリア×中間支援、その在り方を考える

地域福祉再生のための「福祉開発マネージャー」養成（日本福祉大学社会人学び直し大学院プログラム）の北芝地区（大阪府）フィールドワークに1泊2日で参加してきました。



北芝の運動を変える
きっかけのワーク
ショップ「未知なる道」

北芝は箕面市萱野の町中の約200世帯500人のコミュニティで、被差別部落地区。解放運動を根底に、反差別・反貧困をかかげ「誰もが豊かに暮らせるまち」を目指し、住民一人ひとりのつぶやきを拾いながらボトムアップのまちづくりを展開してきました。

現在は、まちづくり活動の中間支援として事業展開されるNPO法人暮らしづくりネットワーク北芝（以下、NPO北芝）が中心となり、立場の異なる組織（行政、企業、NPO、財団、有志団体など）が、組織の壁を越えてお互いの強みを出し合い社会的課題の解決を目指すアプローチ、コレクティブ・インパクトが成り立っています。これらには5つの成立条件がありますが、大切なことは全ての参加者が課題と変革に向けた行動計画を共有していることだと思います。

ちた型のまちづくりの原点は「一人の人間として目の前の人困っているのを放っておけない」にあり、生活上の困りごとを互助で助け合う仕組みとして始まりました。仕組みがない地域へは、その地域の人を発掘、そして団体支援する「おせっかい拡散型」でネットワークが広がりました。対して北芝の課題であった生活基盤（居住・教育・就労）の確保を優先する運動が盛んでした。しかし、行き過ぎた行政依存による住民力の

低下を危惧し、地域の困りごとは高齢者の仕事づくりで解決する「まかさん会」が誕生します。居場所拠点の指定管理者制度、地域通貨まーぶや地域みまもり券等、子ども・若者を地域で育てるためのつながりがあります。

つながりとは面白いもので、今年3月ファンディング日本に参加したNPO北芝の松村さんから、分科会「ちた型0歳～100歳のまちづくり基金」の事例報告を行った岡本理事にアポイントがあり、フィールドワーク直前に北芝の皆さんを南粕谷ハウス（知多市）と絆（東浦町）へご案内する機会を頂き、共通の「たすけあい」の認識が深まりました。



（認N）セカンドハーベスト名古屋からお菓子、（N）ゆめじろう、（社福）むそうからキッチンカーの出店協力に感謝！

知多市市民活動センターは今年、10周年を迎え、実行委員会を組織して10月28、29日「つながる はぐくむ」をテーマに記念事業、を開催しました。

センター入居団体と登録団体で結成されたされた実行委員会の共通して「市民活動の認知度が低い」ことへの危機感があり、「できるだけ多くの市民に知ってもらう」を目標に掲げて日程を産業まつりと重ねたところ、両日の来場者数は5,800人となりました。また、今後も市民活動の裾野を広げるためにオークション、フリーマーケットを原資に草の根活動を応援する「市民活動10周年記念基金（仮称）」を呼びかけたところ、73,141円が集まりました。NPO北芝を参考に、未来に向けた取り組みを始めていきます。（市野恵）

■ホームヘルパーフォローアップ研修

ホームヘルパー講座を開始した平成8年（当時、WACちた）以降、約3,000名の修了生を輩出してきたが、近年の受講者数の減少、高い離職率、現役ヘルパーの高齢化等、現場の人材不足が深刻となっている。

昨年度「介護職員潜在有資格のキャリア復帰支援事業（モリコロ助成）」を開催し、過去10年の資格取得者750人に対して就業状況のアンケートを実施、希望者へ学び直し等のプログラムを提供した。自分らしく働くことを応援するためのきっかけとして短時間で学ぶ場を提供した結果、就労につながったことを踏まえて今年度から（来年2月開講、於日本福祉大学 美浜校）会員団体スタッフ及び介護職員初任者研修修了生を対象に聴講生として受け入れる。受講料は半日1,000円、一日1,500円。（竹内・関）

■知多翔洋高校 まちの先生講座で出前講座

県立知多翔洋高等学校の総合的な学習「まちの先生講座」が始まった。まちの先生講座とは、全3年生を対象に、知多市内の市民活動に携わる人や団体から講義や体験型講座を通じてまちづくりを学び、今後の地域活性化について考える人材育成を目的とした平成26年度からの取組のこと。



初回の授業の様子

NPO出前講座「NPO・市民活動ってなに？」をテーマに福祉人材育成事業、手づくりカフェAda-coda、市民活動センター事業等を紹介することで、まちづくりの意義を伝えていく。10月5日の初回は、知多地域NPOのあゆみを伝え、自分の暮らしを通してまちづくりを考えるワークショップを行ったところ「自分も地域のために何かしたい」と社会貢献への意欲が見えてきた。今年度は来年2月までに全10回の講座を15団体が実施、3月には学生による成果発表会が開催される予定。（久保）

■知多後見センター知多半島ろうスクール運営

7月から始まった(N)知多地域成年後見センター主催による「知多半島ろうスクール（以下、ろうスクール）」の事務運営を担当した。

ろうスクールの目的は、自分らしい生き方と老い方と生活を守るための制度や法律について正しい知識を得ることにあり、「入学」した受講生同

士が学び合う場づくりを大切にしている。授業は、弁護士をはじめとする各分野の専門家を講師に迎えて30～70代の生徒が、遺言・相続、医療同意、葬儀、遺品整理等について学び、ホームルームでは毎回、授業内容を踏まえた上で「何があっても自分らしく生きるために、しようと思ったこと」をテーマにグループワークを行った。



卒業証書を手を微笑む学生一同

10月18日の卒業式では、校長の(N)知多地域成年後見センター事務局長今井友乃氏から「10年前から実施したかった取り組みであり、法律や制度について市民目線で学び、考える機会はとても大切である。根拠のない噂に惑わされ、消費者被害にあうことのないように、正しい知識を学び、自分らしく生きてほしい」と、卒業生に向けてはなむけの言葉が贈られた。「毎回の講座がとても楽しみでした」「グループワークで色々な世代の人と自分の価値観を話し合えて有意義だった」等の感想が寄せられた。（久保）

■プロボノ募集

12月から始まる、知多市まちづくり人材育成事業「市民活動団体プロボノ派遣事業@知多」に向けてプロボノを募集している。プロボノとは、仕事で得たスキルや知識を活かしたボランティア活動のこと。

知多市市民活動センター登録団体から（N）市民大学ちた塾、自然農・自然栽培で知多を豊かにする会、知多市カタール友好交流会の3団体がプロボノ支援を受ける。これからのスケジュールは、12月2日、9日の研修、同時並行で団体が抱える課題をヒアリングし、12月16日にマッチングを行う。以降はそれぞれの支援活動が始まる。

活動内容の整理や人材マネジメント、会員やボランティア獲得の手法等、団体運営支援を約6日間行う。1団体に対してプロボノ3～4人がグループ支援活動をするため無理なく参加でき、また団体と関わるきっかけや他職種の方とつながる機会にもなっている。

現在、プロボノには企業社員（現役、OB）、公務員等の申し込みもあるが、まだ数名募集している。特技を活かしたい方、初めての方、お友達を誘って複数参加もOK。お知り合いのご紹介もお気軽にご連絡ください！（竹内ゆ）

■【開催予告】 第三者組織評価説明会@ちた

「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」（以下、「休眠預金活用法」）が昨年12月2日の参議院本会議での可決を経て成立、同年12月9日に公布された。これより休眠預金（金融機関で10年以上放置されたお金）がNPO法人等の民間公益活動団体に助成・貸付関係が3年後に開始される予定。

現在、NPO法を準拠とした事業や事務局運営を進めているが、今後は預金者等の預金等を原資とする休眠預金を活かすために、事業成果や組織運営の資質向上による信頼の確保が問われてくる。

そこで、NPOの信頼性を証明する「第三者組織評価制度」の説明会を知多市市民活動センターにて（一財）非営利組織評価センター主催により無料開催する。受講対象は、第三組織評価への申込みを検討されている団体、行政、市民活動センター等NPO中間支援機関もこの機会に是非ご参加を！12月8日（金）18時～20時。詳細は4面もしくは当法人ホームページまで（市野）

■知多市民生委員・児童民生協議会研修

9月21日、知多市八幡地区民生委員・児童委員協議会主催による地域包括ケア研修会を開催した。福祉課と第1層の生活支援コーディネーター（以下、コーディネーター）より生活支援体制整備事業についての説明を受けた。今年4月に始動した第2層コーディネーターが、暮らしの中の困りごとを丸ごと受け止める「暮らしの相談センター」を開設し、解決に向けた場づくりの進捗も確認することで、地域包括ケア支援体制における民サロン等の地域交流拠点に持ち寄せられた生活の困りごとに対して身近な相談役の民生委員である。そして、第2層コーディネーターとの連携しながら地域と制度をつないでいくとの提案等がなされた。

地域課題に取り組む東海市内のNPOの拠点2カ所を見学した。東海市いきいき元気推進事業の拠点「とまと記念館」を訪れ、行政・NPO・市民との協働を学んだ。

次に(N)学童保育ざりがにクラブが運営する「渡内おおぞらクラブ」を視察した。東海市は共働き家庭の増加に伴い、学童登録児童数が増加傾向にある。



子どもの成長には地域の理解が必要と、鳴海代表

子どもの体験の幅を広げる課外活動も取り入れ、拠点がある町内会に加入する等、地域交流を積極的に進めている。

参加者からは「サロン活動など市民を巻き込んで進めていけるよう協力したい」「実際に現場を見ることで、自分の地域により関心が深まり、地域の役員として何ができるか考えていきたい」と連携の兆しが芽生え始めた。（安藤）

ふくし職員リレーインタビュー

社会福祉法人南知多町社会福祉協議会

事務局主査 美間 明博さん

山口県出身。3歳の時愛知県へ移住。知多半島内の病院で医療SW、診療放射線技師として15年間従事。平成10年から、特別養護老人ホームで生活指導員・介護支援専門員として相談業務等を行う。それまでの経験を活かし、平成15年から、南知多町社会福祉協議会にて在宅の介護支援専門員として入職。平成22年より事務局を担当している。



平成23年度より、知多南部地域自立支援協議会や南知多、美浜、武豊3町の社会福祉協議会、教育委員会、学校、3町に住む障がいがある方や関係団体等が関わり完成したハンドブック「ふだんのくらしのしあわせ」の作成に携わり、ICFの視点を取り入れた福祉教育の普及に力を注いできた。年々、児童だけでなく、先生の福祉（障がい）への理解が深まり、また当事者の講師自身の学習意欲や伝えたい思いが明確になっている等福祉教育を通じた学びがそれぞれにあると感じている。

「南知多町の地域住民は元々助け合いの気持ちを多く持って生活されている。その当たり前となっている「ささえ合い」や「繋がること」が、これからさらに大切になっていくことを住民の皆さんに意識していただきたい。人と人、地域と福祉を繋ぐきっかけをたくさんつくりたい」と意気込みを語った。（関）

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

■講演会『スポーツをする子どものための食事』 ～ジュニア期は“食トレ”の黄金期～

ジュニア期とジュニアアスリート向けの食事のバランス・摂取量・摂取方法や食生活の重要性について、至学館大学助教授杉島有希氏を招いた講演会を開催する。

〈日時〉11月25日(土)14:00～15:30(13:30開場)

〈対象〉教員・指導者・スポーツ選手・保護者

〈料金〉一人500円 当日支払い。事前申込不要。

〈場所〉武豊町中央公民館 講堂

〈問合せ〉N)ゆめフルたけとよスポーツクラブ

☎0569-84-1100

■ゆいの会 さをり織り展示即売会

〈日時〉12月1日(金)～3日(日)10～16時

〈場所〉N)ゆいの会 多目的ホール

〈問合せ〉N)ゆいの会 事務局 ☎0562-32-5906

住所:知多市新知字西屋敷22番地2

ゆいの会スタッフ随時募集中

ヘルパー(資格不問)、ドライバー、調理スタッフ

詳細 <http://www.yui.npo-jp.net/28-bosyu/bosyu.html>

■ネットワーク大府 25周年記念事業 八神純子 コンサート

〈日時〉2018年1月25日(木)

16時00分開演 (15時30分開場)

〈会場〉大府市勤労文化会館 もちのきホール

☎0562-48-6151

〈チケット一般発売〉11月1日(水)～

〈問合せ〉認N)ネットワーク大府 事務局

☎0562-44-3735

■予告！高校生レストラン@手づくりカフェAda-coda

今年度も12月26日(火)、27日(水)、Ada-codaにて知多翔洋高校 家庭科の学生が腕を振ります！(竹内ゆ)

■だいこんの花 介護スタッフ大募集

〈場所〉①小規模多機能型居宅介護事業所すずしろの花

住所:知多市旭南1丁目22番地の1(1階)

電話:0569-47-8080

②訪問介護事業所 だいこんの花

住所:知多市岡田字乞食道39番地の7

電話:0562-85-5000

〈内容〉①小規模多機能型デイサービス

A.常勤スタッフ 月15～20万円

B.パートスタッフ 時給900円

②訪問介護 時給1,000円

※実習(4日)・研修(2か月)期間は、

①時給900円、②時給1,000円

〈勤務時間〉①7時～12時、8時～17時、12時～21時、

15時～翌9時(夜勤) ②8時～17時

〈問合せ〉N)だいこんの花 ☎0562-85-5000

面接は随時行います。

■サポートちた NPOマネジメントのお知らせ

①NPO基礎講座

NPOの運営をより円滑に進めるための事務能力向上、会計事務、諸手続きに関する講座を開催する。

〈日時〉11月24日(金)10時～16時 ※検定16時～

11月25日(土) 9時半～15時半 ※検定15時半～

〈内容〉NPO基礎・定款所轄庁手続き、法務局手続き、

雇用と給与計算、会計・決算

〈講師〉加藤彰子氏(岡山NPO事務センター センター長)

〈料金〉1,500円(資料・ランチ代含)、検定料別途1,000円

〈会場〉知多市市民活動センター2階

②第三組織評価説明会@ちた

NPOの持続可能な運営と信頼性を証明するための「第三者組織評価制度」の説明会を開催する。参加費は無料

〈日時〉12月8日(金)18時～20時

〈講師〉杉田研一氏((一財)非営利組織評価センター事務局)

〈会場〉知多市市民活動センター2階

年末年始休業日のお知らせ

サポートちたの年末年始は、平成29年12月29日(金)～平成30年1月3日(水)までお休みをいただきます。

尚、休み明けの1月4日(木)は、通常通り9時から始業いたしますので、よろしくお願ひ申し上げます。



特定非営利活動法人
地域福祉サポートちた
CFSC

478-0047 知多市緑町12-1
知多市市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631
Fax 0562 (33) 1743